

山口県光市、イオン光店隣接地にコンテナホテルが登場！
「HOTEL R9 The Yard 光」が2026年7月12日(日)開業！
 工場が集積する光市エリアへのビジネス新拠点。防災にも役立つ「フェーズフリー」ホテル。

株式会社デベロップ(本社:千葉県市川市、代表取締役社長CEO:岡村 健史、以下「デベロップ」)は、山口県光市にコンテナホテル「HOTEL R9 The Yard 光」を2026年7月12日(日)に開業します。

なお、当ホテルは、「R9 HOTELS GROUP」では全国で147店舗目、そのうち「HOTEL R9 The Yard」シリーズとしては139店舗目の開業となります。



HOTEL R9 The Yard 光 外観

【HOTEL R9 The Yard 光 施設情報】

施設名:	HOTEL R9 The Yard 光 (ホテル アールナイン ザ ヤード ヒカリ)		
施設場所:	山口県光市浅江1888-5		
オープン日:	2026年7月12日(日)		
予約受付開始日:	2026年7月3日(金)15:00		
アクセス:	【お車】山陽自動車道「熊毛IC」「徳山東IC」より車で約15分 【電車】JR山陽本線「光駅」よりタクシーで約5分		
駐車場:	あり(無料)		
駐車台数:	普通車/軽自動車47台		
敷地面積:	3,262㎡(986坪)		
客室数:	45室		
客室構成:	ダブルルーム41室/ツインルーム4室		
<ダブルルーム>	定員:2名 広さ:13㎡	1名 6,200円/泊~	2名 8,700円/泊~
<ツインルーム>	定員:2名 広さ:13㎡	1名 6,200円/泊~	2名 9,700円/泊~
ホームページ:	https://hotel-r9.jp/hotels/hikari/		

【ホテル概要】

山口県内で6店舗目の出店となる「HOTEL R9 The Yard 光」は、山陽自動車道「熊毛IC」および「徳山東IC」より車で約15分、県道8号沿いの「イオン光店」隣接地に所在します。光市周辺は周南コンビナートをはじめ工場が集積するエリアです。当ホテルより車で10分圏内には瀬戸内海沿いに工場集積地が広がるほか、「周防工業団地」を中心に製造・加工業の企業が多数立地しています。徒歩圏内にはイオン光店をはじめ、スーパーマーケットやコンビニエンスストアがあり、連泊・長期滞在時でも快適にお過ごしいただけます。

また、「虹ヶ浜海水浴場」や「室積海水浴場」など瀬戸内の海辺スポットへのアクセスも良好なほか、「フィッシングパーク光」や笠戸島、「周南市徳山動物公園」など、ファミリーやカップルで楽しめるレジャースポットも揃っています。平日はビジネス、週末は自然やレジャーを楽しむ観光の滞在拠点として、幅広いシーンでご利用いただけます。

当ホテルシリーズは、災害など有事の際には「レスキューホテル」としての役割を担います。平時は宿泊施設として、有事には県内で運営中の「HOTEL R9 The Yard」とも連携しながら、光市をはじめ山口県の防災拠点として機能する、地域に根ざしたホテルを目指します。

【イオンリテール株式会社様との連携について】

今回の出店は、イオンリテール株式会社様よりお声がけをいただいたことを契機に実現しました。大型商業施設とホテルが隣接する立地特性を活かし、買い物と宿泊の双方における利便性を高める取り組みとして展開しております。特に出張での連泊・長期滞在においては、食事や日用品の調達を近隣で完結できるため、滞在中も快適にお過ごしいただけます。

【災害時には避難所等になるフェーズフリーのホテルで備えない防災を】

当社が運営する「HOTEL R9 The Yard(ホテル アールナイン ザ ヤード)」シリーズは、斬新な外観と上質な空間を持ち合わせたコンテナホテルです。建築用コンテナモジュールを利用した独立客室は、隣室と壁を接しないため静粛性とプライバシー性に優れます。13㎡の室内には、良質なベッド、ゆったり使用できるユニットバス、冷凍冷蔵庫、電子レンジ、加湿空気清浄機等を備えており、シンプルながら高い快適性を実現。多くのお客様の好評を得て、全国で136店舗5,333室を運営中です(2026年6月1日現在)。また、有事の際には客室をすみやかに被災地へ移設し避難施設等にご利用いただく「レスキューホテル」としての役割を担うことで、「災害に強い社会」および「未来の命や暮らしを守ること」に資するよう努めます。なお、「動くホテル」「レスキューホテル」との語および、それらの関連標章※は、各々、末尾のとおり、商標登録をしております。

ホテル アールナイン ザ ヤード シリーズ ブランドページ: <https://hotel-r9.jp/brands/theyard/>

レスキューホテル ウェブサイト: https://www.dvlp.jp/lp/rescue_hotel

【東日本大震災の経験をもとに実現／レスキューホテル誕生の経緯】

2011年の東日本大震災では、コンテナ型備蓄倉庫の寄贈や復興従事者用の仮設宿泊施設の建設などの為、震災後間もなく現地に入りました。被災地の方が多くの避難所で生活に大きな負担を強いられている状況を目の当たりにし、発災後に安心安全なプライベート空間を迅速かつ簡便に提供したいという想いで誕生したものがレスキューホテルです。

動くホテルの1例目として、宮城県石巻市で復興従事者用宿泊施設として利用されたコンテナを栃木県佐野市に移設し2017年10月「HOTEL R9 SANOFUJIOKA」としてリニューアルオープン。その後、更なる移設性を高めるべく1台1客室型に改良、2018年12月に、動くホテルの1例目として、「HOTEL R9 The Yard(ホテル アールナイン ザ ヤード)」シリーズ1号店が栃木県真岡市にオープンしたことを端緒として本シリーズを全国各地へ展開。全国どこへでもすみやかにレスキューホテルが駆けつける体制づくりを目指します。

【レスキューホテル出動実績】

2020年4月に長崎クルーズ船内における新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてレスキューホテル初の有事出動を行いました。その後、東京都三鷹市および東京都千代田区、都内民間病院へPCR検査体制強化のために出動。空調を完備した客室は、季節や天候等に関係なく診療活動を行うことができ、医療従事者の負担軽減のために利用されました。

2021年12月には、栃木県へ新型コロナウイルス第6波およびオミクロン株の感染拡大対応のため、診察室やナースステーション等の臨時医療施設として126室を出動。さらに2022年2月には、千葉県と東京都の臨時医療施設の付帯施設として計21室が利用されました。レスキューホテルの、1台1客室の独立した客室構造が着目され、自治体や民間の病院の有事インフラのひとつとして地域医療に貢献しました。

■レスキューホテルは「日常時」と「非常時」のどちらにおいても役に立つ商品として「フェーズフリー認証」を取得しております。

■災害時の備えを全国へ展開し、強靱なまちづくりに貢献～SDGsの取り組み～

レスキューホテルは、「SDGs事業認定」を取得しております。災害時の備えとして自治体との協定締結の輪を広げ、各自治体のBCP(事業継続計画)に寄与し、持続可能な開発目標の達成に貢献します。

【運営会社】

会社名： 株式会社デベロップ
代表者： 代表取締役社長CEO 岡村健史
所在地： 千葉県市川市市川一丁目4番10号 市川ビル8階
設立： 2007年2月
事業内容： ホテル事業、エネルギー事業、建築不動産事業
ホームページ： <https://develop-group.jp>



※「レスキューホテル The Yard(商標 第6240114号)」、「災害支援型レスキューホテル(商標 第6394774号)」、「医療従事者支援型レスキューホテル(商標 第6394775号)」その他「レスキューホテル」の語を用いた商標、並びに「動くホテル The Yard(商標 第6240108号)」その他「動くホテル」を用いた商標は、デベロップの登録商標です。

【本リリースに関するお問い合わせ】 株式会社デベロップ 広報担当

Tel: 047-712-5112 Email: pr@dvlp.jp